

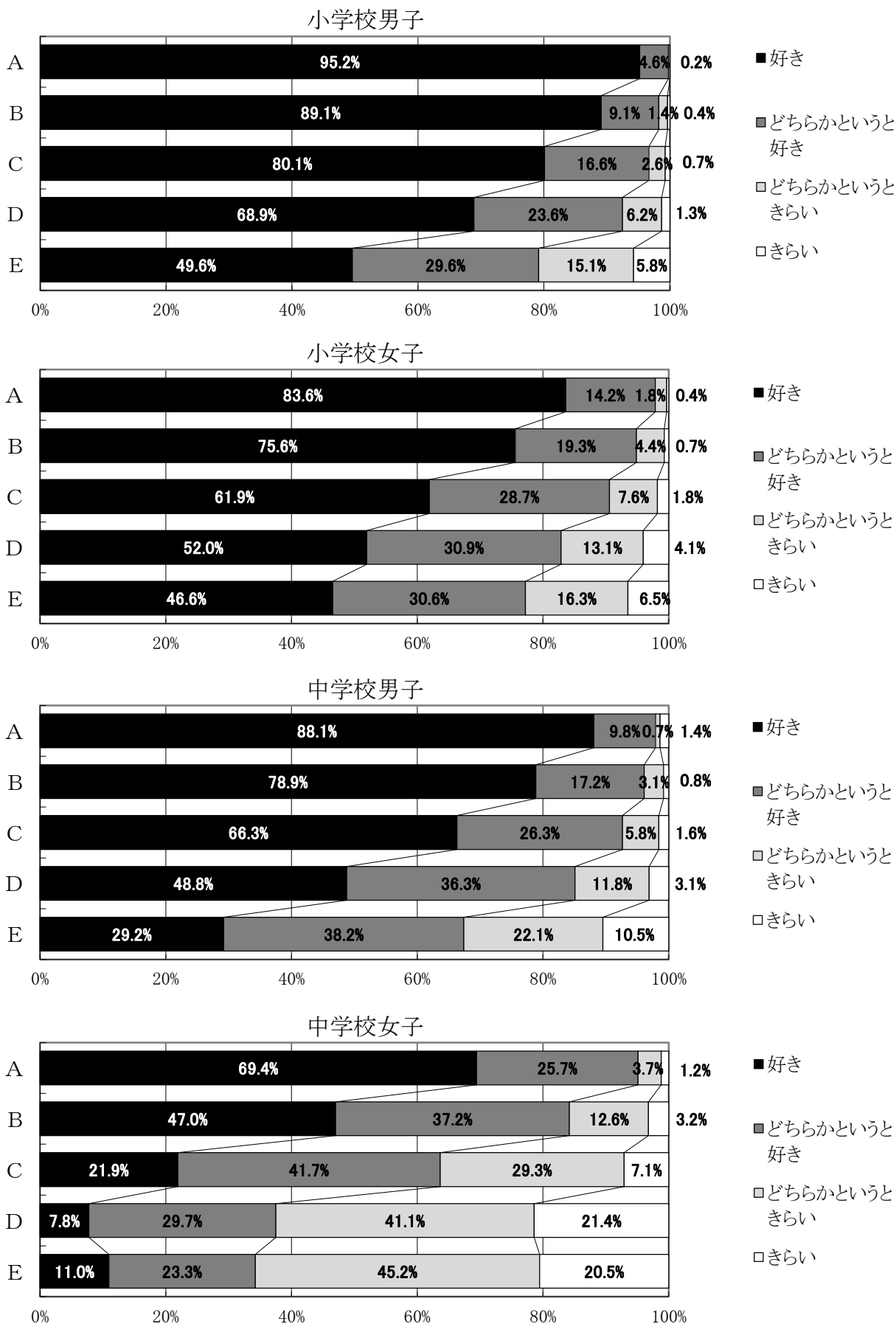
# 10 クロス集計

## H25体力・生活調査各項目の関連

- 1 『体力総合評価』 と 『運動意識』 の関連
- 2 『体力総合評価』 と 『運動習慣』 の関連
- 3 『体力総合評価』 と 『運動の実施時間』 の関連
- 4 『朝食摂取』 と 『体力総合評価』 の関連
- 5 『朝食摂取』 と 『便通』 の関連
- 6 『就寝時刻(平日)』 と 『朝食摂取』 の関連
- 7 『テレビ視聴・ゲーム実施時間』 と 『就寝時間(平日)』 の関連
- 8 『1か月の読書冊数』 と 『テレビ視聴・ゲーム実施時間』 の関連
- 9 『1か月の読書冊数』 と 『家庭での読書のすすめ』 の関連(※)

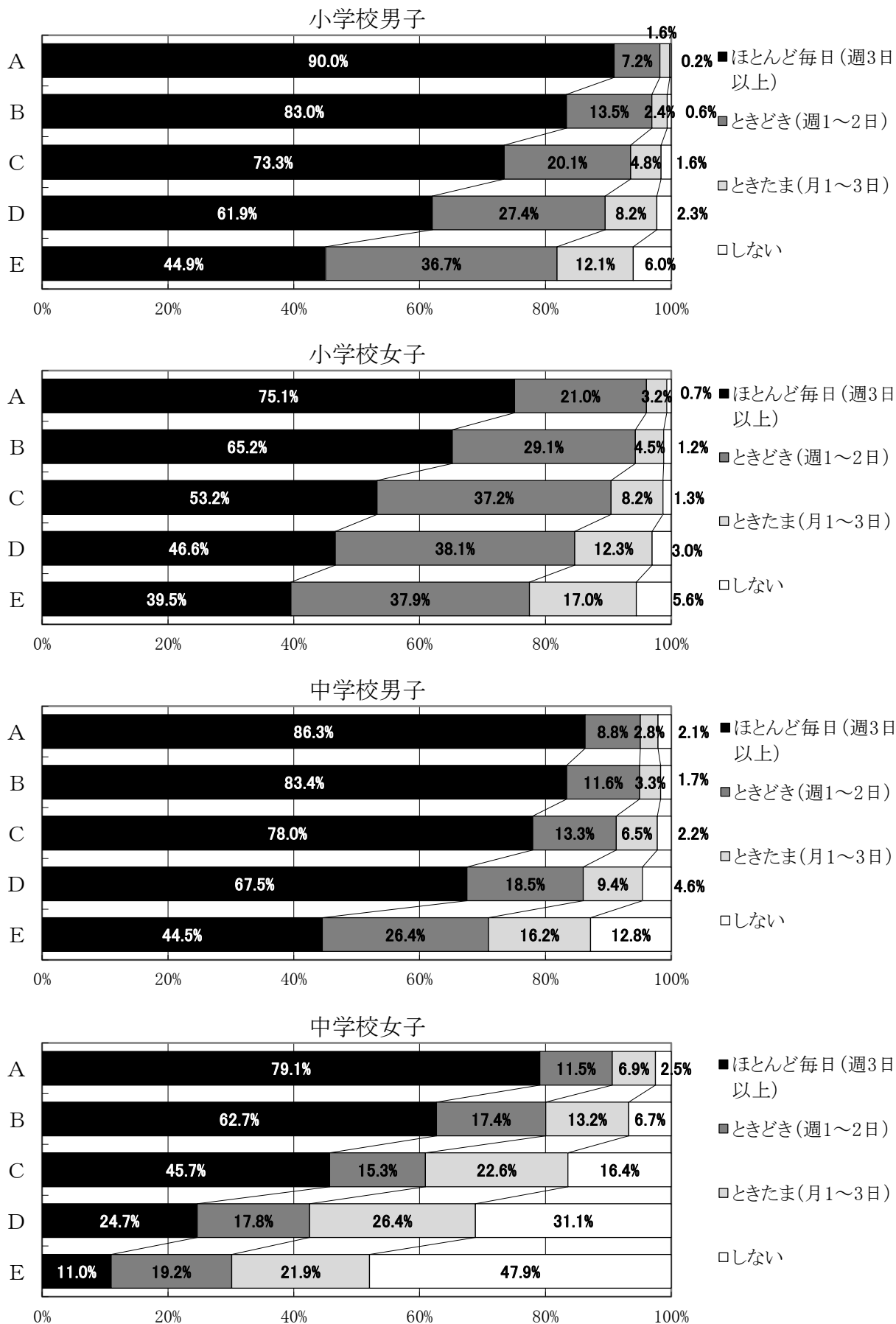
平成25年度は、調査項目の見直しを実施した。(※)の付いた項目は、調査内容に変更がなく、平成24年度との比較が可能な項目である。

# 1 『体力総合評価』と『運動意識』の関連



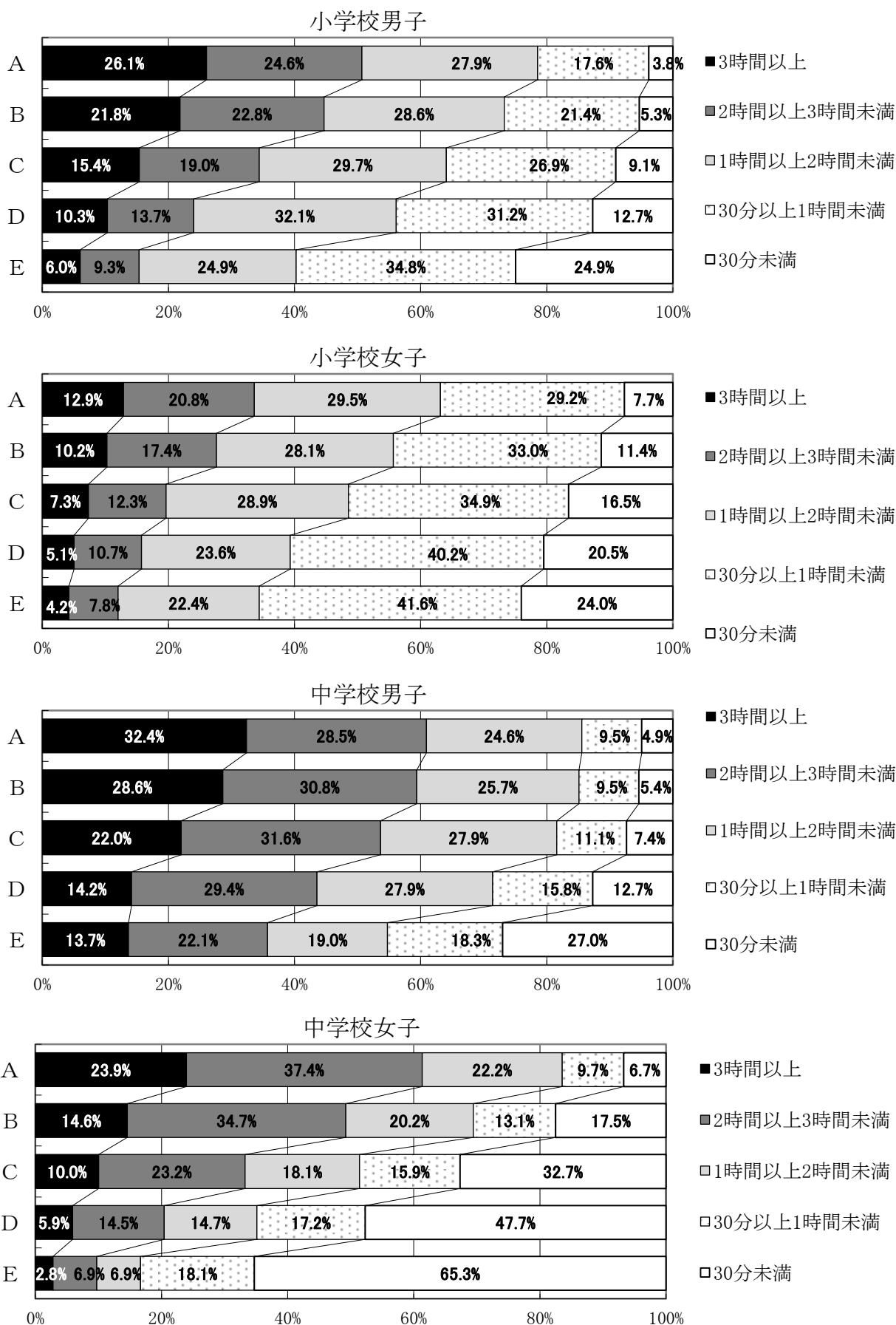
小・中学生ともに、体力総合評価が高いほど、運動好きな児童生徒の割合が大きい傾向にある。中学校女子では、体力総合評価がDやEの生徒は、運動がきらいな生徒の割合が大きくなっている。

## 2 『体力総合評価』と『運動習慣』の関連



小・中学生ともに、体力総合評価が高いほど、「ほとんど毎日(週3日以上)運動をしている」児童生徒の割合が大きい傾向にある。

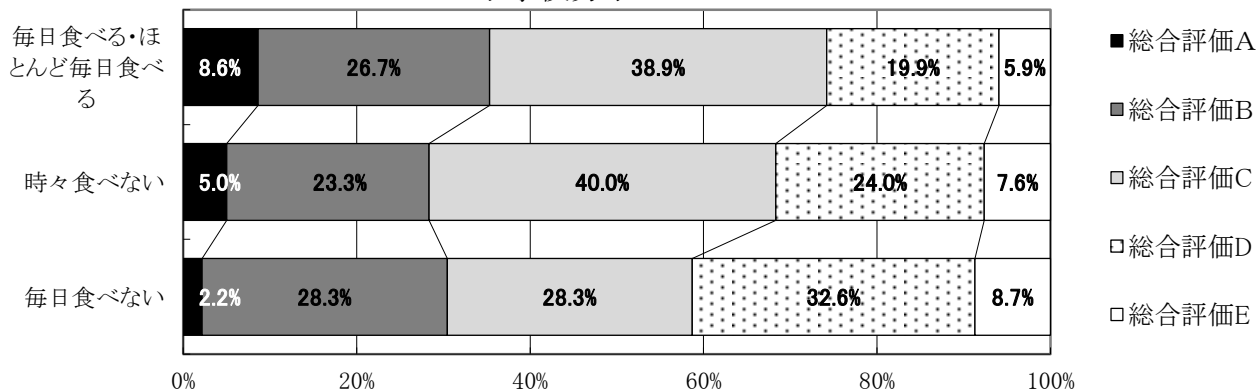
### 3 『体力総合評価』と『運動の実施時間』の関連



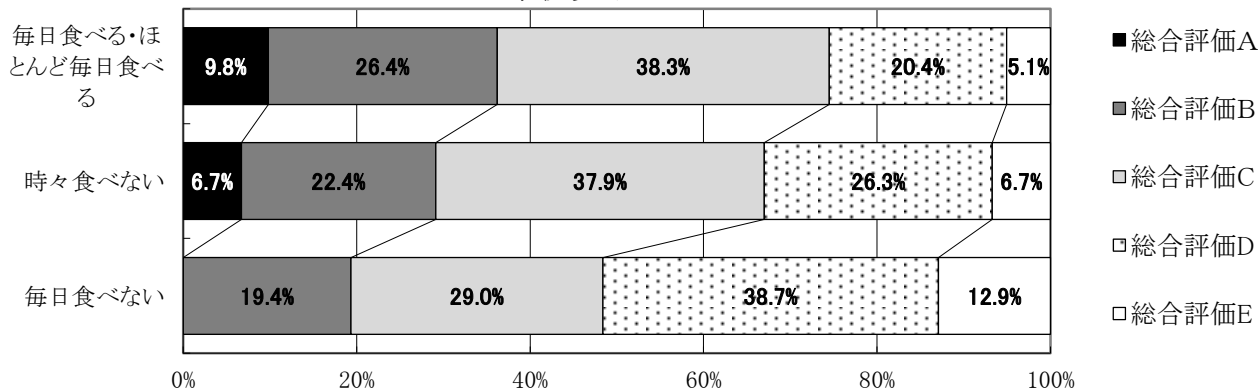
小・中学生ともに、体力総合評価が高い児童生徒ほど、1日の運動時間が長くなる傾向にある。中学校女子は体力総合評価がC以下では、30分未満の生徒の割合が最も大きくなっている。

#### 4 『朝食摂取』と『体力総合評価』の関連

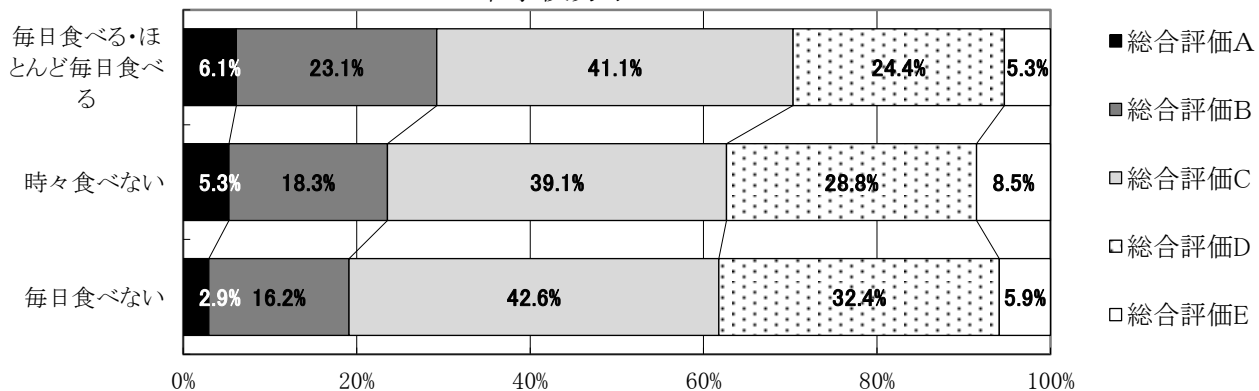
小学校男子



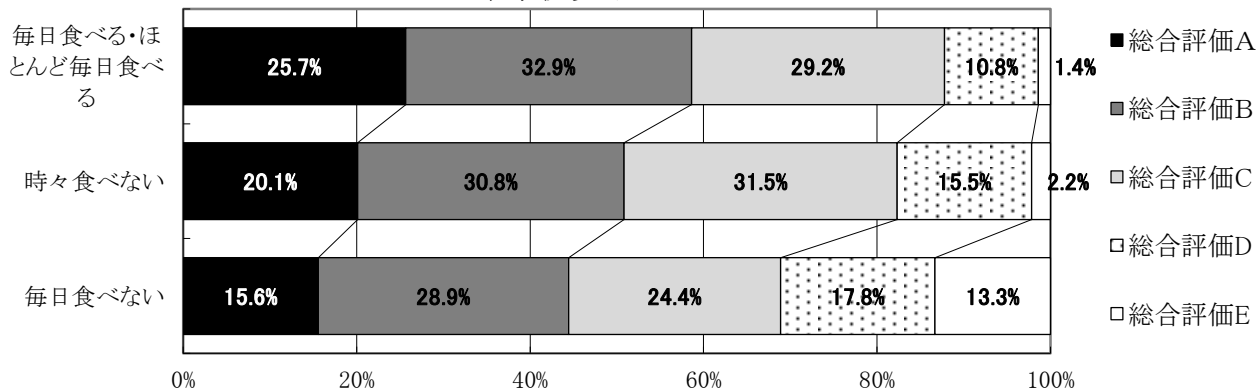
小学校女子



中学校男子



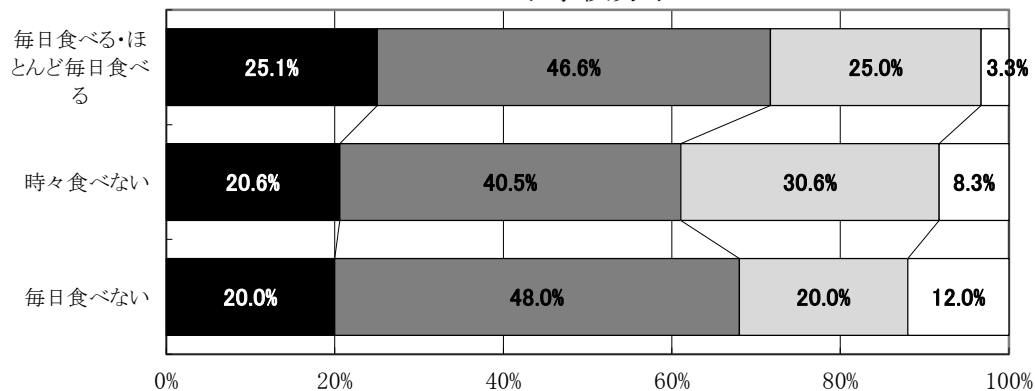
中学校女子



小・中学生ともに、朝食の摂取状況がよい児童生徒は、体力総合評価の判定結果の高い児童生徒の割合が大きい傾向にある。

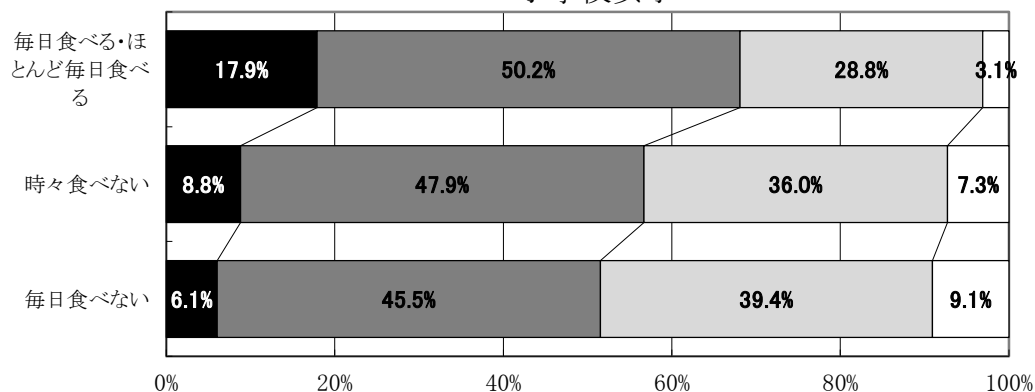
## 5 『朝食摂取』と『便通』の関連

### 小学校男子



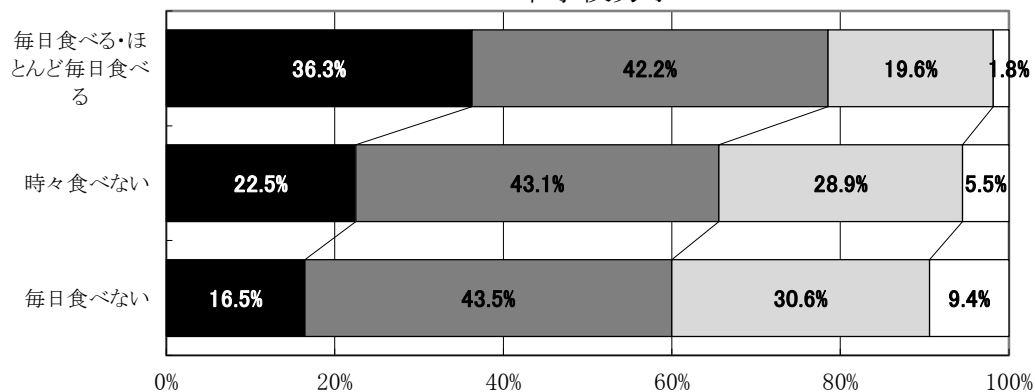
- 毎日登校前に出る
- 毎日出るが同じ頃ではない
- 2～4日に1回出る
- 5～7日に1回出る

### 小学校女子



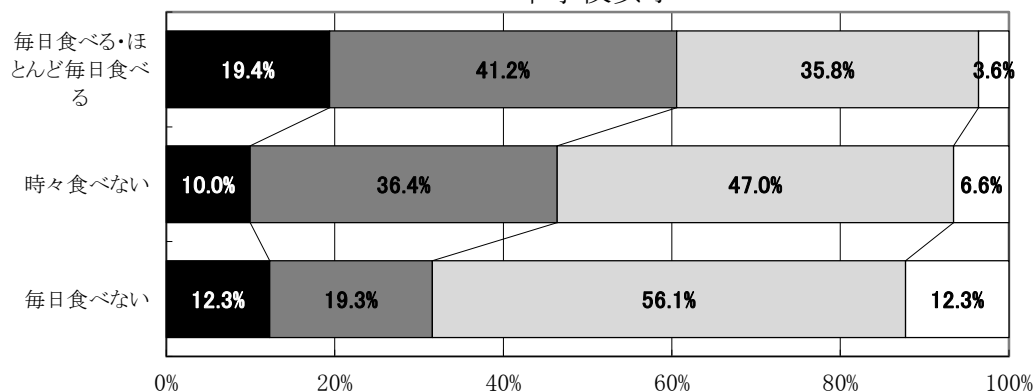
- 毎日登校前に出る
- 毎日出るが同じ頃ではない
- 2～4日に1回出る
- 5～7日に1回出る

### 中学校男子



- 毎日登校前に出る
- 毎日出るが同じ頃ではない
- 2～4日に1回出る
- 5～7日に1回出る

### 中学校女子

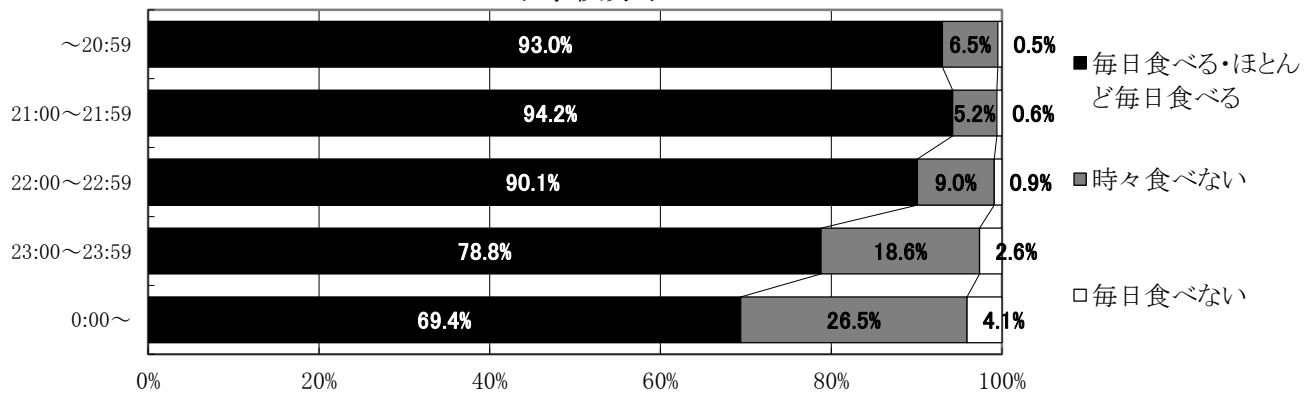


- 毎日登校前に出る
- 毎日出るが同じ頃ではない
- 2～4日に1回出る
- 5～7日に1回出る

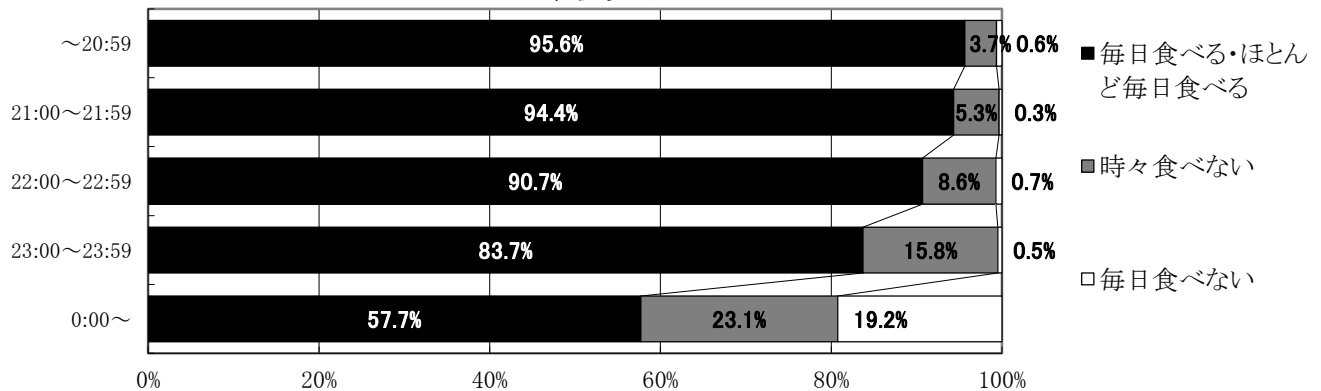
朝食を「毎日食べる・ほとんど毎日食べる」児童生徒は、「毎日食べない」児童生徒に比べ、便通のリズムがよい傾向にある。

## 6 『就寝時刻(平日)』と『朝食摂取』の関連

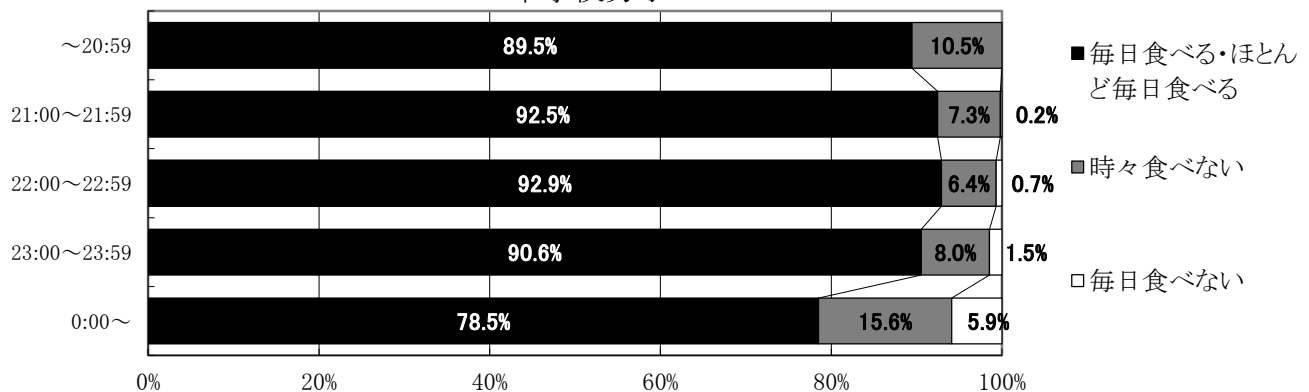
### 小学校男子



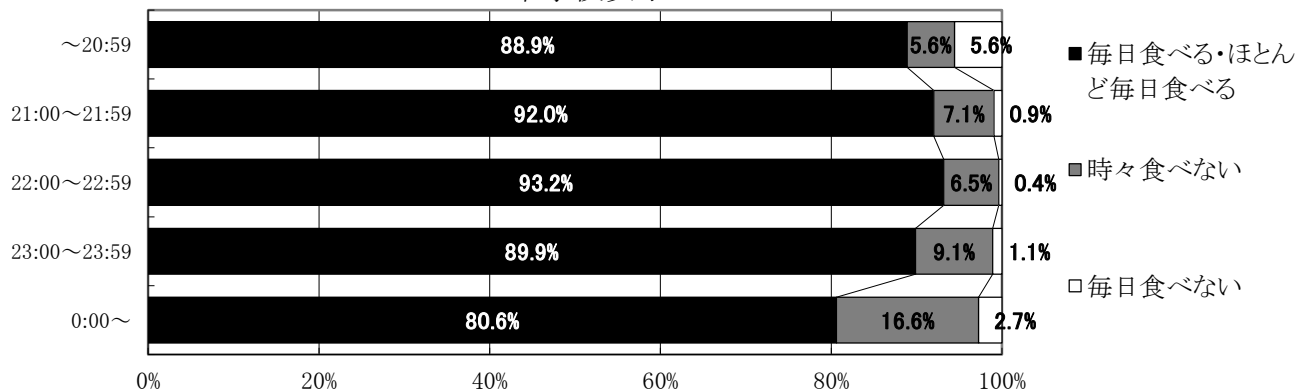
### 小学校女子



### 中学校男子



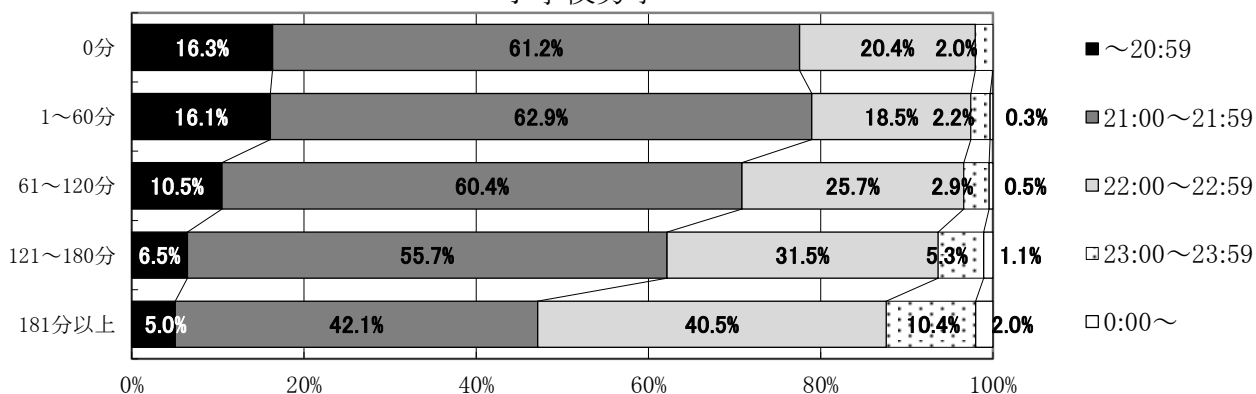
### 中学校女子



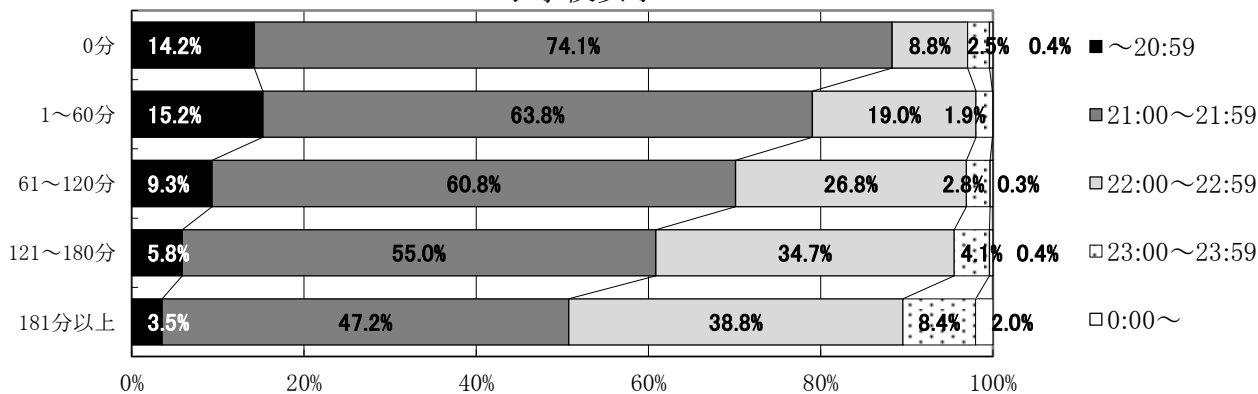
小学生では、22時までに就寝する児童は、朝食を「毎日食べる・ほとんど毎日食べる」割合が95%に近い。また、就寝時刻が0時以降の児童生徒は、「朝食を毎日食べる・ほとんど毎日食べる」割合が特に小さくなる。

## 7 『テレビ視聴・ゲーム実施時間』と『就寝時刻(平日)』の関連

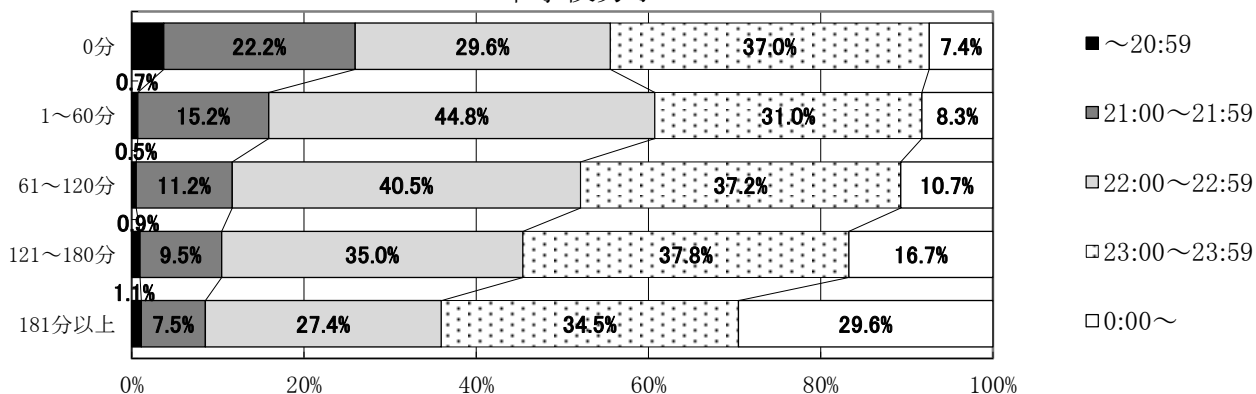
### 小学校男子



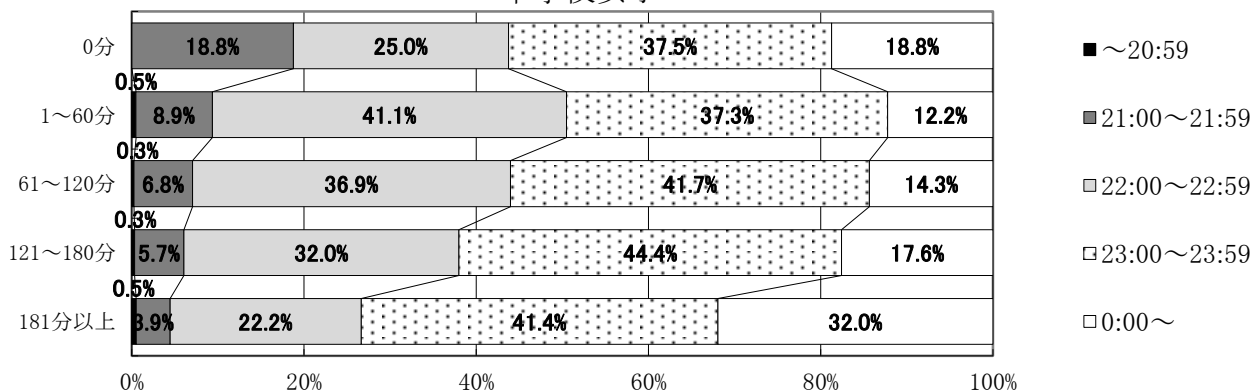
### 小学校女子



### 中学校男子



### 中学校女子

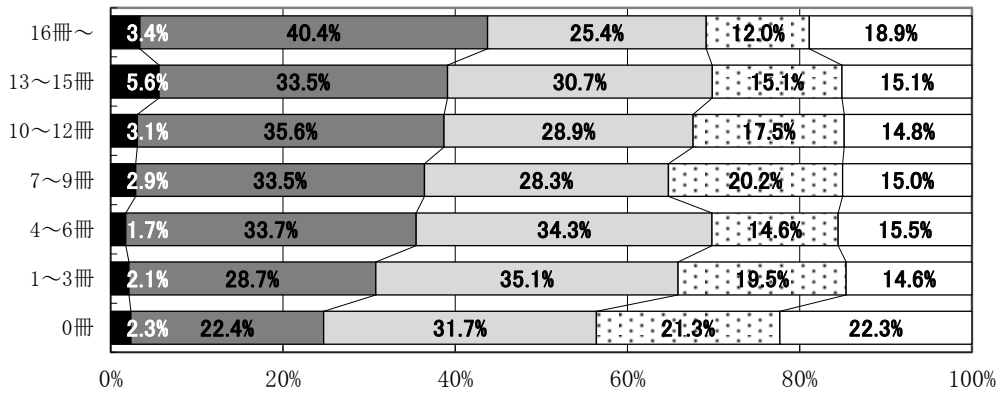


小・中学生ともに、テレビの視聴時間やゲーム実施時間が長い児童生徒は、就寝時刻が遅くなる傾向がある。特に181分以上の児童生徒の就寝時刻は、小学生では22時以降の割合が50%近くなり、中学生では23時以降の割合が男子が60%を、女子が70%を上回っている。

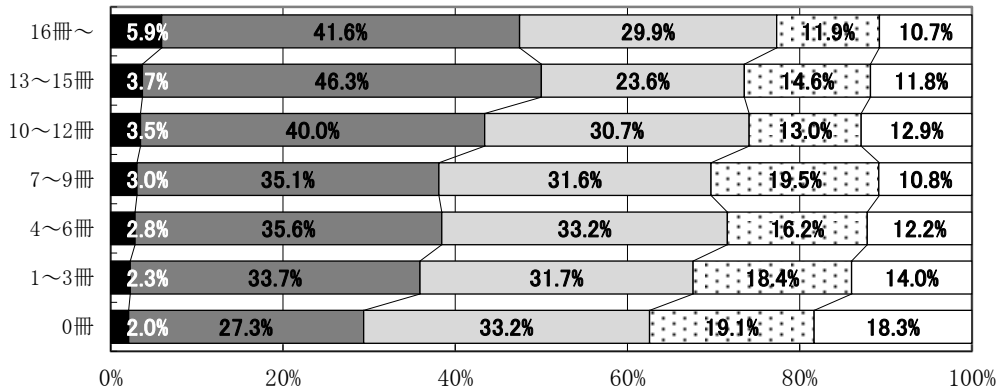


## 8 『1か月の読書冊数』と『テレビ視聴・ゲーム実施時間』の関連

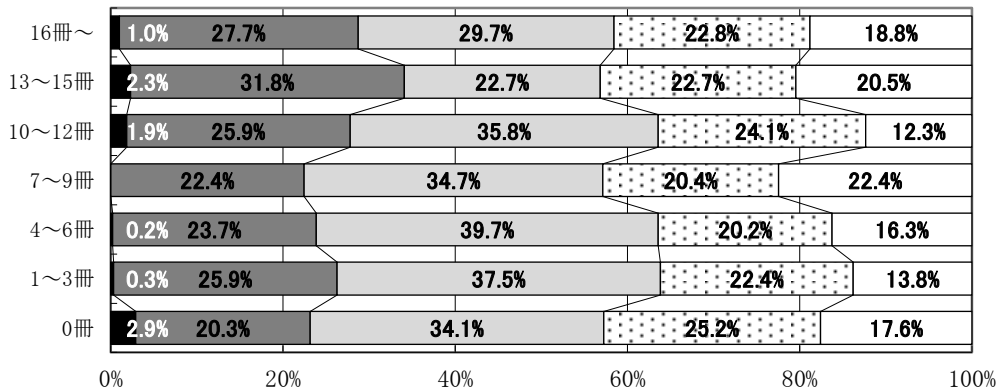
### 小学校男子



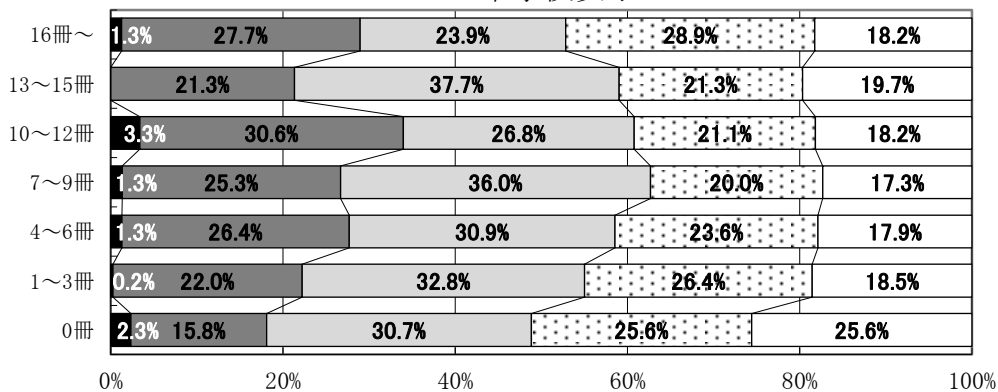
### 小学校女子



### 中学校男子



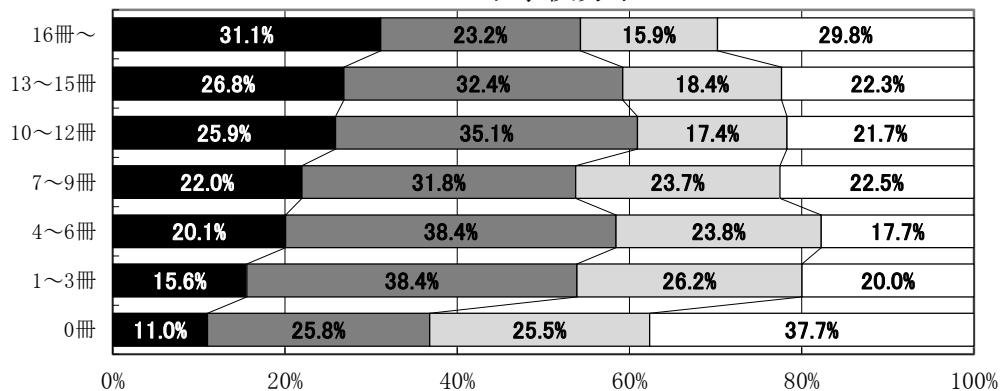
### 中学校女子



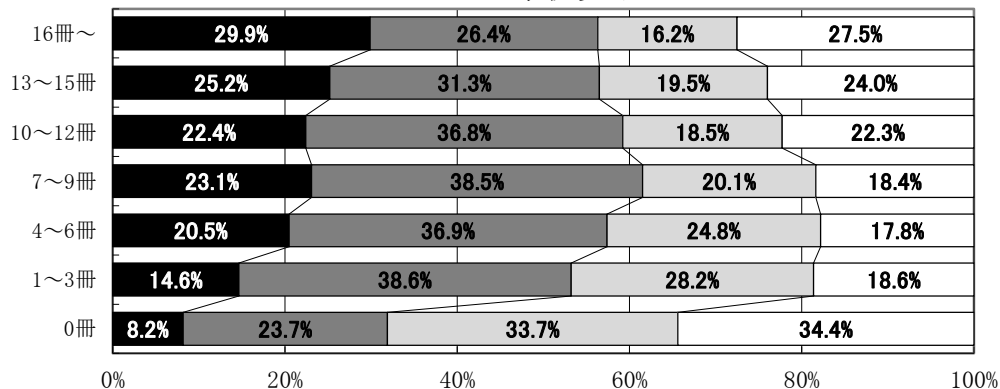
小学生では、読書冊数の少ない児童はテレビ視聴時間やゲームの実施時間が長い傾向にある。

## 9 『1か月の読書冊数』と『家庭での読書のすすめ』の関連(※)

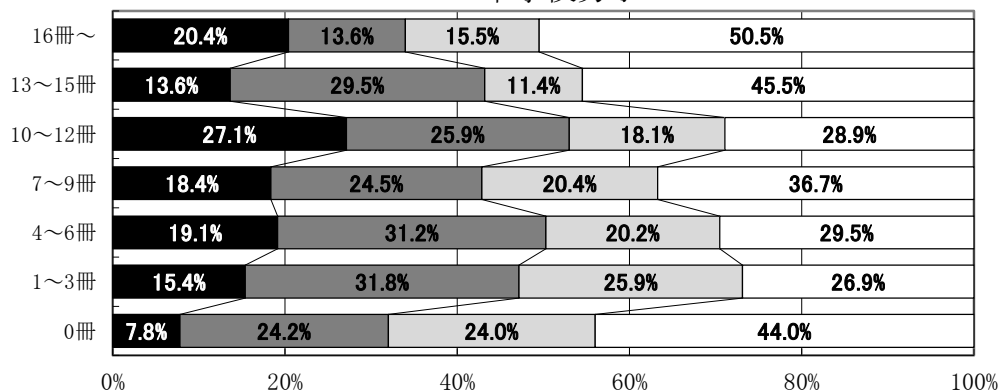
### 小学校男子



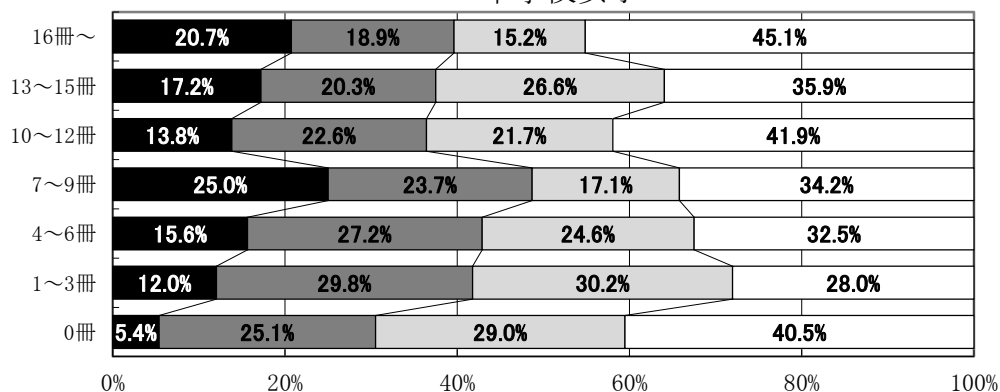
### 小学校女子



### 中学校男子



### 中学校女子



小学生では、家庭で読書をよく勧められている児童は、読書冊数が多い傾向にある。小・中学生ともに読書冊数が0冊の児童生徒は、家庭で「読書をあまり勧められない」及び「全く勧められない」と回答した割合が、1冊以上読書している児童生徒に比べて大きく、平成24年度と同じ傾向である。